

オーディオ実験室収載

ライブストリーミングを楽しむ(54)

—様々な YouTube のサイト—

1. 始めに

前報(53)に引き続き、様々な YouTube サイトを試聴しました。

2. ライブの試聴方法と使用機器環境

今回の試聴対象の YouTube サイトは以下のとおりです。

Alice Sara Ott in concert with the Insula orchestra, Laurence Equilbey conducting. Oct 15, 2016, Philharmonie de Paris.

曲目は、ベートーヴェンの幻想交響曲で、スタンウェイの演奏です。

<https://www.youtube.com/watch?v=4I8AT3S3iRc>

名古屋芸術大学フィルハーモニー管弦楽団第 11 回定期演奏会

ライブストリーミングを楽しむ(52) で報告したものです。

https://www.nua.ac.jp/event/detail/20231129_12.html

川口成彦ショパン全曲演奏会 in 相模湖 vol. 3 ハイライツ

ピアノフォルテの演奏です。

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLaS4LFdtt9Q-Fn4VBusDljOPzceorxql7>

ベートーヴェン国際ピアノコンクールアジア「相模湖交流センター賞」

受賞者の角田菜摘の演奏を試聴します。ピアノはベーゼンドルファーです。

別の演奏はライブストリーミングを楽しむ(51)でも 報告したものです。

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLaS4LFdtt9Q-Fn4VBusDljOPzceorxql7>

使用機器は、PC から USB アキュライザー経由で Brooklyn DAC+に送り出し、
Brooklyn DAC+には Crystal E を接続し、ABS-7777 から 48KHz のクロックを
入力しています。

ベートーヴェンの幻想交響曲は、古楽器群で構成されたオーケストラの落ち着いた演奏をバックにアリス沙良オットのスタンウェイがキラキラと輝き、終章の合唱も濁らずに分離、協和しています。

名古屋芸術大学フィルハーモニー管弦楽団第 11 回定期演奏会は、松井慶太指揮で、ヘンデルのデッティングン・テ・デウム ニ長調 HWV.283 とヘンデルの水上の音楽の演奏です。デッティングン・テ・デウムでは、オーケストラも合唱も

ライブ感が十分であり、YouTube とは思えないほどのクオリティです。水上の音楽では、金管の華やかさも十分です。

川口成彦ショパン全曲演奏会は、ショパン全曲からのハイライトの抜粋です。使用楽器はフォルテピアノで、YouTube とは思えないほどの質感が出ており、フォルテピアノの予想外の表現力が味わえます。

ベートーヴェン国際ピアノコンクールの角田菜摘の演奏は、ベートーヴェンのパガテル変ホ長調と 15 の変奏曲とフーガ変ホ長調で、ベーゼンドルファーのおちついた厚みのある音色で表現されていました。





4. まとめ

様々な YouTube の再生において、LAN iPurifier Pro 経由の受信と Brooklyn DAC+ 周辺の対策で、YouTube 再生のクオリティの向上が確認できました。

以上